



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄
(コード番号 4064 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 角田 尚久
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 28 年 2 月 5 日に開示いたしました「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
 コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	37,703	△8.0	1,373	41.9	1,499	26.4	807	—
27年3月期第3四半期	40,973	5.4	967	45.4	1,186	41.7	△459	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 127 百万円 (△77.6%) 27年3月期第3四半期 567 百万円 (△73.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	9.87	—
27年3月期第3四半期	△5.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	61,988	21,074	32.4
27年3月期	62,045	21,150	32.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 20,059 百万円 27年3月期 20,143 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△10.2	2,200	45.0	2,300	40.2	1,200	—	14.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付書類4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	81,940,298株	27年3月期	81,940,298株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	60,216株	27年3月期	58,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	81,880,585株	27年3月期3Q	81,882,179株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成27年11月6日公表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国が下支え役となり、緩やかながら景気回復が続いているものの、中国、アジア新興国や資源国では成長ペースの鈍化・停滞が見られるなど、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国では、堅調な企業収益や所得・雇用環境の改善による個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループにおいては、機能製品分野では、原材料価格の低下などによる収益の改善がある一方、東南アジア地域での市況低迷などによる影響を受けたほか、電子・光学製品分野や建設・建材関連分野では、需要縮小などにより、各分野ともに減販となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は377億3百万円と前年同期比32億6千9百万円 (8.0%減)の減収、営業利益は13億7千3百万円と前年同期比4億5百万円 (41.9%増)の増益、経常利益は14億9千9百万円と前年同期比3億1千3百万円 (26.4%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億7百万円 (前年同期は4億5千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、NIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.を連結の範囲に含めておりません。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けや農薬関連向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂製品は海外向けは堅調でしたが、国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着製品は光学関連分野向けが低調となり、前年同期比減収となりました。マーキングフィルムは海外向けは堅調に推移したものの、国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での減販により、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は173億5千7百万円と前年同期比7億5千8百万円 (4.2%減)の減収となりましたが、原材料価格の低下などにより、セグメント利益は16億6千4百万円と前年同期比3億4千2百万円 (25.9%増)の増益となりました。

(電子・光学製品)

当該事業の主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などあります。

このうち、再帰反射シートは欧州向けが低迷し、前年同期比減収となりました。セラミック基板はスマートフォン向けが低調となったほか、デジタル家電向けも振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板はアミューズ関連をはじめ総じて振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は96億1千7百万円と前年同期比16億3千2百万円 (14.5%減)の減収、セグメント損失は3億4千万円 (前年同期は2百万円の利益)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

主力の手摺、笠木等の販売は消費税増税前の需要増があった前年同期に比べ減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は78億2千8百万円と前年同期比2億9千8百万円（3.7%減）の減収、セグメント利益は2億1千7百万円と前年同期比1億8千3百万円（45.8%減）の減益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施工は国内外の大型工事案件の完工が減少しました。

以上により、当セグメントの売上高は49億1千2百万円と前年同期比5億2千6百万円（9.7%減）の減収となったものの、セグメント利益は2千2百万円（前年同期は4億9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比5千6百万円減少し、619億8千8百万円となりました。

このうち、流動資産は、大口債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少はあったものの、現金及び預金や棚卸資産の増加などにより、前期末比10億6千7百万円増加し、317億7千7百万円となりました。固定資産は、連結の範囲の変更に伴う投資有価証券の減少などにより、前期末比11億2千3百万円減少し、302億1千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比1千9百万円増加し、409億1千4百万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金の減少や短期借入金の返済などにより、前期末比20億3千万円減少し、252億4千8百万円となりました。固定負債は、環境経営支援ローンなど長期借入金の調達により、前期末比20億4千9百万円増加し、156億6千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上はあったものの、為替換算調整勘定の減少などにより、前期末比7千5百万円減少し、210億7千4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.5%から0.1ポイント悪化し、32.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、最近の業績等に加え、中国経済の減速による受注への影響が懸念され、セラミック基板などの販売が想定を下回るが見込まれます。

このような状況を踏まえ、平成27年11月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成28年3月期 通期連結業績予想数値（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年11月6日発表)	55,000	2,500	2,600	1,200	14円66銭
今回修正予想(B)	51,000	2,200	2,300	1,200	14円66銭
増減額(B-A)	△4,000	△300	△300	0	—
増減率(%)	△7.3	△12.0	△11.5	0.0	—
前期実績 (平成27年3月期)	<u>56,765</u>	<u>1,517</u>	<u>1,640</u>	<u>△1,815</u>	<u>△22円18銭</u>

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成25年9月13日 企業会計基準第21号）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成25年9月13日 企業会計基準第22号）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成25年9月13日 企業会計基準第7号）等を第1四半期連結会計期間より適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用については、「企業結合に関する会計基準」第58-2項(4)、「連結財務諸表に関する会計基準」第44-5項(4)及び「事業分離等に関する会計基準」第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,384	6,754
受取手形及び売掛金	16,993	15,505
商品及び製品	4,719	5,032
仕掛品	1,923	1,661
原材料及び貯蔵品	1,978	2,187
その他	872	800
貸倒引当金	△162	△165
流動資産合計	30,709	31,777
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,787	6,230
土地	12,540	12,454
その他(純額)	8,133	8,157
有形固定資産合計	27,460	26,842
無形固定資産	610	593
投資その他の資産		
その他	3,488	2,928
貸倒引当金	△224	△152
投資その他の資産合計	3,264	2,775
固定資産合計	31,335	30,211
資産合計	62,045	61,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,327	9,040
短期借入金	13,549	12,809
未払法人税等	77	286
賞与引当金	510	583
役員賞与引当金	—	20
その他	2,814	2,508
流動負債合計	27,278	25,248
固定負債		
長期借入金	6,490	8,633
退職給付に係る負債	3,069	3,015
役員退職慰労引当金	65	81
再評価に係る繰延税金負債	2,979	2,979
その他	1,010	955
固定負債合計	13,616	15,665
負債合計	40,894	40,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	1,878	2,505
自己株式	△10	△10
株主資本合計	11,306	11,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	253
繰延ヘッジ損益	4	△0
土地再評価差額金	6,151	6,151
為替換算調整勘定	2,536	1,789
退職給付に係る調整累計額	△70	△67
その他の包括利益累計額合計	8,837	8,126
非支配株主持分	1,006	1,014
純資産合計	21,150	21,074
負債純資産合計	62,045	61,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	40,973	37,703
売上原価	31,397	27,929
売上総利益	9,575	9,774
販売費及び一般管理費	8,607	8,400
営業利益	967	1,373
営業外収益		
受取利息	60	60
受取配当金	101	113
その他	438	276
営業外収益合計	600	451
営業外費用		
支払利息	188	150
その他	193	174
営業外費用合計	382	324
経常利益	1,186	1,499
特別利益		
投資有価証券等売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
固定資産除却損	79	—
特別退職金	—	45
特別損失合計	79	45
税金等調整前四半期純利益	1,136	1,453
法人税、住民税及び事業税	482	426
法人税等調整額	925	122
法人税等合計	1,408	548
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△271	905
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	97
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△459	807

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△271</u>	<u>905</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	36
繰延ヘッジ損益	5	△4
為替換算調整勘定	490	<u>△815</u>
退職給付に係る調整額	184	4
持分法適用会社に対する持分相当額	2	—
その他の包括利益合計	<u>839</u>	<u>△778</u>
四半期包括利益	<u>567</u>	<u>127</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>357</u>	<u>102</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	210	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,530	11,237	8,113	4,562	41,443	△469	40,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	584	12	13	876	1,485	△1,485	—
計	18,115	11,249	8,126	5,438	42,929	△1,955	40,973
セグメント利益又は 損失(△)	1,321	2	400	△409	1,315	△128	1,186

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,874	9,587	7,809	3,815	38,086	△383	37,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	482	30	19	1,097	1,627	△1,627	—
計	17,357	9,617	7,828	4,912	39,714	△2,010	37,703
セグメント利益又は 損失(△)	1,664	△340	217	22	1,563	△63	1,499

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	38,163	△7.7	1,625	△2.3	1,786	△7.5	1,157	322.4
27年3月期第3四半期	41,328	5.9	1,664	115.6	1,930	102.0	273	△50.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 598 百万円 (△50.6%) 27年3月期第3四半期 1,212 百万円 (△48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	14.13	—
27年3月期第3四半期	3.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	63,532	22,820	34.3
27年3月期	63,294	22,679	34.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 21,805 百万円 27年3月期 21,673 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△10.6	2,200	△2.8	2,300	△6.1	1,200	—	14.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付書類4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付書類4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	81,940,298株	27年3月期	81,940,298株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	60,216株	27年3月期	58,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	81,880,585株	27年3月期3Q	81,882,179株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成27年11月6日公表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国が下支え役となり、緩やかながら景気回復が続いているものの、中国、アジア新興国や資源国では成長ペースの鈍化・停滞が見られるなど、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国では、堅調な企業収益や所得・雇用環境の改善による個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループにおいては、機能製品分野では、原材料価格の低下などによる収益の改善がある一方、東南アジア地域での市況低迷などによる影響を受けたほか、電子・光学製品分野や建設・建材関連分野では、需要縮小などにより、各分野ともに減販となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は381億6千3百万円と前年同期比31億6千5百万円（7.7%減）の減収、営業利益は16億2千5百万円と前年同期比3千8百万円（2.3%減）の減益、経常利益は17億8千6百万円と前年同期比1億4千3百万円（7.5%減）の減益となったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等調整額の減少などにより、11億5千7百万円と前年同期比8億8千3百万円（322.4%増）の増益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD.を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けや農薬関連向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂製品は海外向けは堅調でしたが、国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着製品は光学関連分野向けが低調となり、前年同期比減収となりました。マーキングフィルムは海外向けは堅調に推移したものの、国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での減販により、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は173億5千7百万円と前年同期比7億2千7百万円（4.0%減）の減収となりましたが、原材料価格の低下などにより、セグメント利益は17億9千1百万円と前年同期比3億9百万円（20.9%増）の増益となりました。

(電子・光学製品)

当該事業の主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、再帰反射シートは欧州向けが低迷し、前年同期比減収となりました。セラミック基板はスマートフォン向けが低調となったほか、デジタル家電向けも振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板はアミューズ関連をはじめ総じて振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は96億1千7百万円と前年同期比16億3千2百万円（14.5%減）の減収、セグメント損失は3億4千万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

主力の手摺、笠木等の販売は消費税増税前の需要増があった前年同期に比べ減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は78億2千8百万円と前年同期比2億9千8百万円(3.7%減)の減収、セグメント利益は2億1千7百万円と前年同期比1億8千3百万円(45.8%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施工は国内外の大型工事事業の完工が減少しました。

以上により、当セグメントの売上高は52億6千9百万円と前年同期比4億2千9百万円(7.5%減)の減収となったものの、セグメント利益は2億1千8百万円と前年同期比9千万円(71.7%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比2億3千7百万円増加し、635億3千2百万円となりました。

このうち、流動資産は、大口債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少はあったものの、現金及び預金や棚卸資産の増加などにより、前期末比11億8百万円増加し、327億3千7百万円となりました。固定資産は、連結の範囲の変更に伴う投資有価証券の減少などにより、前期末比8億7千万円減少し、307億9千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比9千6百万円増加し、407億1千1百万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金の減少や短期借入金の返済などにより、前期末比20億2千9百万円減少し、250億4千6百万円となりました。固定負債は、環境経営支援ローンなど長期借入金の調達により、前期末比21億2千6百万円増加し、156億6千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、連結の範囲の変更に伴う剰余金の減少はあったものの、四半期純利益の計上により、前期末比1億4千万円増加し、228億2千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の34.2%から0.1ポイント改善し、34.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、最近の業績等に加え、中国経済の減速による受注への影響が懸念され、セラミック基板などの販売が想定を下回ることが見込まれます。

このような状況を踏まえ、平成27年11月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成28年3月期 通期連結業績予想数値（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年11月6日発表)	55,000	2,500	2,600	1,200	14円66銭
今回修正予想(B)	51,000	2,200	2,300	1,200	14円66銭
増減額(B-A)	△4,000	△300	△300	0	—
増減率(%)	△7.3	△12.0	△11.5	0.0	—
前期実績 (平成27年3月期)	<u>57,059</u>	<u>2,263</u>	<u>2,450</u>	<u>△1,017</u>	<u>△12円43銭</u>

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成25年9月13日 企業会計基準第21号）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成25年9月13日 企業会計基準第22号）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成25年9月13日 企業会計基準第7号）等を第1四半期連結会計期間より適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用については、「企業結合に関する会計基準」第58-2項(4)、「連結財務諸表に関する会計基準」第44-5項(4)及び「事業分離等に関する会計基準」第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373	6,490
受取手形及び売掛金	17,689	16,640
商品及び製品	4,739	5,072
仕掛品	2,095	1,656
原材料及び貯蔵品	1,972	2,180
その他	920	861
貸倒引当金	△162	△165
流動資産合計	31,629	32,737
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,678	6,185
土地	12,304	12,454
その他(純額)	7,472	8,089
有形固定資産合計	26,455	26,729
無形固定資産	610	592
投資その他の資産		
その他	4,823	3,625
貸倒引当金	△224	△152
投資その他の資産合計	4,599	3,473
固定資産合計	31,665	30,794
資産合計	63,294	63,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,214	8,904
短期借入金	13,549	12,809
未払法人税等	61	270
賞与引当金	510	583
役員賞与引当金	—	20
その他	2,740	2,458
流動負債合計	27,075	25,046
固定負債		
長期借入金	6,490	8,633
退職給付に係る負債	3,069	3,015
役員退職慰労引当金	65	81
再評価に係る繰延税金負債	2,979	2,979
その他	933	955
固定負債合計	13,539	15,665
負債合計	40,614	40,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	3,472	4,120
自己株式	△10	△10
株主資本合計	12,900	13,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	253
繰延ヘッジ損益	4	△0
土地再評価差額金	6,151	6,151
為替換算調整勘定	2,471	1,919
退職給付に係る調整累計額	△70	△67
その他の包括利益累計額合計	8,772	8,256
非支配株主持分	1,006	1,014
純資産合計	22,679	22,820
負債純資産合計	63,294	63,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	41,328	38,163
売上原価	31,131	28,260
売上総利益	10,197	9,902
販売費及び一般管理費	8,533	8,276
営業利益	1,664	1,625
営業外収益		
受取利息	64	53
受取配当金	101	113
その他	463	318
営業外収益合計	630	485
営業外費用		
支払利息	170	150
その他	193	174
営業外費用合計	364	324
経常利益	1,930	1,786
特別利益		
投資有価証券等売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
固定資産除却損	79	—
特別退職金	—	45
特別損失合計	79	45
税金等調整前四半期純利益	1,880	1,741
法人税、住民税及び事業税	482	426
法人税等調整額	935	60
法人税等合計	1,418	486
四半期純利益	462	1,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	97
親会社株主に帰属する四半期純利益	273	1,157

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	462	1,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	36
繰延ヘッジ損益	5	△4
為替換算調整勘定	401	△693
退職給付に係る調整額	184	4
持分法適用会社に対する持分相当額	2	—
その他の包括利益合計	750	△656
四半期包括利益	1,212	598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	573
非支配株主に係る四半期包括利益	210	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>17,534</u>	11,237	8,113	<u>4,822</u>	<u>41,706</u>	<u>△378</u>	<u>41,328</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>550</u>	12	13	876	<u>1,451</u>	<u>△1,451</u>	—
計	<u>18,084</u>	11,249	8,126	<u>5,698</u>	<u>43,157</u>	<u>△1,829</u>	<u>41,328</u>
セグメント利益	<u>1,482</u>	2	400	<u>127</u>	<u>2,012</u>	<u>△82</u>	<u>1,930</u>

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>16,892</u>	9,587	7,809	<u>4,142</u>	<u>38,431</u>	<u>△268</u>	<u>38,163</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>465</u>	30	19	<u>1,127</u>	<u>1,640</u>	<u>△1,640</u>	—
計	17,357	9,617	7,828	<u>5,269</u>	<u>40,071</u>	<u>△1,908</u>	<u>38,163</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>1,791</u>	△340	217	<u>218</u>	<u>1,886</u>	<u>△100</u>	<u>1,786</u>

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。